

議案第3号

令和2年度事業報告

我が国における少子高齢化社会の進展とそれに伴う人手不足により、高齢者に就業機会を提供するシルバー人材センターへの期待は、「生きがいの場」の提供のみならず「地域の担い手」として高まっており、地域のセーフティーネットとして欠かせない存在となっています。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が経済活動に大きな影響を与え、事業活動が制限され受注業務が縮小される等、本年度のシルバー事業に大きく影響する結果となりました。

また、センターで取り組みを予定した事業も中止又は規模縮小を余儀なくされ、定時総会の開催も出席人数を極力抑え短時間での開催といたしました。

具体的な事業実績ですが、年度末の会員数は621人で、ひとり一会員一仕事開拓運動の充実や特別キャンペーン期間を設けての勧誘活動を実施しましたが、企業の雇用延長等の影響による入会会員の減少や高齢等の理由による退会者が多く発生したことから、前年対比3.6%（23人）の減少となりました。さらに、契約金額は3億6,601万円余となり、新型コロナウイルス感染の影響により前年比11.5%（4,762万円）の減少となりました。

契約額を部門別にみると、公共部門は年度当初の施設閉鎖等の影響もあり5.7%（521万円）の減、民間部門の一般家庭においては2.0%（174万円）の増とほぼ昨年並みの実績となりました。しかし、事業所等においては、特に観光・飲食関係を中心に新型コロナウイルスによる影響を受け、19.0%（4,415万円）の減と大幅な減少となりました。

派遣就業においても、新型コロナウイルスに伴う業務縮小等の影響により8.5%（138万円）の減となり、派遣を含めた全体の事業実績は、3億8,099万円余で前年比11.4%（4,900万円）の減となり、昨年度の事業実績から大きく減少する結果となりました。

請負委任を基本としつつ、高齢者の就業機会の拡大と適正就業推進のため、「適正就業ガイドライン」に基づき「労働者派遣事業」等の推進に取り組み、本年度は「労働者派遣」で12社との間で契約を取り交わしました。今後とも業務内容の検証を行うと共に、これらの事業に積極的に取り組んでいく必要があります。

「安全は全てに優先する」を基本に事故ゼロを目指し、「作業前後のミーティング」の励行を重点に安全対策を推進してきました。年度始めに地区単位で安全講習を実施し、受講の徹底を図る事により安全意識の向上に努め、昨年度と同様に事故件数を1桁前半に抑えることができました。今後においても事故防止に向けた積極的な取り組みが必要となります。

